

猿橋
小学校

瑛玖良

瑛玖良校は明治期における猿橋小の旧名。切磋琢磨の意が込められている。

150年の歴史を胸に

校長 磯部 裕之

猿橋小学校は、明治7年「第八中学区公立十番小学校諏訪山附属猿橋校」として開学して以来、150年の歴史を刻んできました。今年度は、創立150年という節目の年に当たります。秋には、PTAの皆様とも協力して、記念集会も行う予定です。

学校だよりのタイトルにもなっている「瑛玖良」。明治15年に、「第二中学区第十六番小学校」として独立校となった際に、「校名を瑛玖良校と称す」と沿革に記録されています。以来、猿橋小学校では、この「瑛玖良」という名前を大切にしてきました。校章にも桜をモチーフにしたデザインが採り入れられていますし、校歌としても「名もゆかし瑛玖良校」と歌い継がれてきました。その他にも、安兵衛太鼓部の法被のデザインなどにも桜が使われています。



この「瑛玖良」という校名には、学校だよりタイトルの注釈にもあるように「切磋琢磨する」という意味が込められているそうです。互いに磨き合い、高め合う、そんな願いを込めてつけられた校名とのことです。教育目標「つながり高め合い みんなでつくる瑛玖良校」にも、同じ願いが込められています。

新学期が始まって2週目に入ったころ、6年生が、1年生の朝学習のお手伝いに1年生の教室に入るようになりました。6年生が絵本の読み聞かせなどをして、1年生がスムーズに1日のスタートを切れるようにサポートする姿は、ほほえましく頼もしい限りです。6年生も1年生も、つながり合って、高め合って、日々成長する姿を見せてくれています。

また、連休前から、運動会に向けて結成された応援団が、いよいよ活動をスタートさせます。今年度は、どんなパフォーマンスを見せてくれるのか、今から楽しみです。

運動会と言えば、感染症の影響で声を出すことが自粛され、一時的に途絶えていた第一応援歌を、今年度は数年ぶりに復活させる予定です。皆様の記憶にも残っているでしょうか。

1 グラウンド広き晴れの場に
熱血あふれる健児らは
日頃きたえきたえたる
腕をふるうはこの時ぞ

2 夏空高く日は照りて
ここに集える我が友よ
ともに励まし戦えば
最後の勝利は我にあり
(第一応援歌デモテープより)

代々歌い継がれてきたと思われるこの応援歌。今年度は、150周年記念の運動会の中で、グラウンド一杯に響くことでしょう。

つながり高め合いながら日々成長していく子どもたち。今年度は創立150年の歴史を感じつつ、子どもたちの成長を支えながら、職員一同、全力で教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様とも手を携えて進んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。